

阪元彦太郎君を送る

倉橋惣三

前の文部省學校教育局初等教育課長阪元彦太郎君は、文部省組織變更と共に、岡山大學教育學部長に轉出せられた。同君の初等教育課長在任中、幼稚園教育のために貢獻された多くの功業を憶うて、深い謝意を默し得ない。初等教育一般に對する功績は更めて言わない。また、同君が特に意を用いられた特殊教育上の功業についても、別に述べる場所があるであろう。茲には、幼兒教育に關する點において、その未曾有の功業を特筆せずにはられないのである。學校教育法における幼稚園、その設置規則、保育調査委員會の設置、その結果としての保育要領の刊行、つゞいてその補修の着手、幼年教育研究會の開設、いづれも、同君の力を待たないものはなかつたが、その他、幼兒教育に關する同君の理想は、隨所にあらわれて一々舉げて數え難いといつた方がよからう。

根本の革新に對する、大局的把握も、細部的苦心も、實に容易なものでないが、殊に總司令部との密接な連絡には、その局に當つたものでなければ測り知れないものがある。阪元君はその根本の方針と、實地の獨創と更に、表現の微妙とに、常に強固の自立を失うことなく、しかも、C

・I・E殊に擔當のヘファーナン女史の深甚な信頼と圓滑な諒解の下に、一切を處理進行していたことは敬服に値するものであつた。

これらは、素より、君の教育行政官としての手腕によることであるが、君にこれらの功業をなさしめた大きな要因は何んといつても、君の性格に基く兒童愛と長き經驗に養われた教育現實感とであつたことを忘れてはならない。君は、行政官たるよりも實際教育家たることに眞の興味があるといつても語つていた。しかも、實際教育の精神こそが、君の教育行政を生命あるものにしたのだと言わなければならぬ。教育の法制から實際指導に移つて、益々多事ならんとする時、君を中央に失うは惜しまざるを得ない。しかも、これからの實際教育を充實させるものは地方の現地である。君をその現地教育に送る（再び）ことも意義少くないことであるまい。沉んや、歴史を持つ岡山の幼兒教育を天下のために再興して貰うことは、筆者の心密かに希望しているところでもある。殊に全國保育連合會新副會長として、君の識見と手腕に期待すること大きい。

中央は學校教育局が初等中等教育局となり。新局長稻田清助氏の下に、新課長大島文義氏を以て、一段の活躍が準備されている。全國の幼稚園教育界は、此の新陣容に對する信頼と期待とを以て、今後一層の發展につとめるであらう。阪元君も亦、變りなく我等と行を共にせられんことを。